

平成 21 年 8 月 5 日

各 位

上場会社名 株式会社 ニコン
 代表者 取締役社長 苅谷 道郎
 (コード番号 7731 東証第1部)
 問合せ先 広報・IR部ゼネラルマネジャー 羽鳥 正之
 (TEL 03-3216-1032)

平成 22 年 3 月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 5 月 13 日に公表しました連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

(1) 平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 320,000	百万円 14,000	百万円 16,000	百万円 15,000	円 銭 37 84
今回修正予想(B)	340,000	32,000	36,000	29,000	73 16
増減額 (B - A)	20,000	18,000	20,000	14,000	-
増減率 (%)	6.3%	-	-	-	-
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	487,141	54,069	53,102	33,624	84 78

(2) 平成 22 年 3 月期通期連結業績数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 680,000	百万円 12,000	百万円 16,000	百万円 17,000	円 銭 42 89
今回修正予想(B)	710,000	30,000	36,000	28,000	70 64
増減額 (B - A)	30,000	18,000	20,000	11,000	-
増減率 (%)	4.4 %	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期)	879,719	48,184	47,689	28,055	70 76

2. 修正の理由

世界経済は、各国の景気対策の効果もあり今年度に入り一部に明るい材料も見え始めたものの、全般的に依然として低調に推移しており厳しい状況が続いております。

当社グループの各事業セグメントでは、映像事業においては、円高の影響はあるものの、前期第 4 四半期を底に引き続き回復することが予想されます。精機事業では、液晶関連分野においては、設備投資需要が緩やかながらも回復基調に転じることが予想されますが、半導体関連分野につきましては、市況の低迷に伴う顧客の設備投資抑制が続き、依然として厳しい事業環境が続くものと見られます。このため精機事業において、第 2 四半期以後、棚卸資産の見直しを行い適正化を図る予定で、これに伴い 300 億円弱の廃棄評価損の増加を見込んでおります。以上を考慮しました結果、当期第 2 四半期連結累計期間ならびに通期連結業績につきまして、上記のとおり修正することといたしました。

なお、第 2 四半期以降の為替レートにつきましては、米ドルは 1 米ドル = 95 円、ユーロは 1 ユーロ = 125 円を前提としております。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

以上